Sobal corporation

JPX
東証JASDAQ上場
証券コード 2186

株主通信 2019

2018年3月1日 － 2019年2月28日（第37期）

社是
Company creed

技術で社会に貢献する
We contribute to the society
by providing technical services.

目次
Contents

2. 社是
3. 目次
4 - 5. 代表メッセージ
6 - 7. ソーバルグループ事業案内
8. 2019年2月期の概況
9. 2020年2月期の展望
10. 2019年2月期トピックス
11. 中長期成長戦略
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待／配当金／CSR活動
15. 株式基本情報／株主情報
16. 会社情報／株式手続き

代表メッセージ

企業にとって、最大の資源は人材です。

ソーバル株式会社　代表取締役社長兼CEO

推津 敦

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。
私どもは、高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが価値あるテクノロジーを生み出す近道だと考え、社員が技術力と人間力を高めることのできる環境を一貫して構築してまいりました。

また、コンシューマ向け製品をはじめ、WEB、医療、自動車関連など幅広い分野のお客さまのニーズに真摯にお応えし、従来のソフトウエア開発に留まらず、組込み・ハードウエア開発、マニュアル制作、品質評価、自動運転技術、IoT、AIなど技術の提供領域を広げてまいりました。更に、システム開発をワンストップ受注できるこれまでの体制をより一層充実させるために、グループ各社との協業や人的・技術的交流を通してシナジー効果を日々追求しております。

デジタル変革によって、私たちは利便性や効率性をスピーディに追求できる時代に生きています。その結果、新しく生まれてくるモノやサービスもあれば、無くなったり、形を変えたりなど、あらゆる領域で大小様々な変化に直面しています。
弊社は、こうした新たな未来に向かって、「技術で社会に貢献する」という1983年創業以来の理念のもと、私たちの社会にとって真に豊かな時代の創造を目的として、更なる高みを目指してまいります。
そして、お客さまのご要望がますます多様化・高度化している時代にあっても、長年にわたって築き上げた信頼と実績をベースに、品質の高いサービスを提供してまいります。

社会に貢献できるソーバルグループとして、CSR活動にも積極的に取り組み、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応え信頼を獲得するべく、全社員一丸となって邁進してまいります。

今後とも引き続き、皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ソーバルグループ事業案内

ソーバル株式会社

～３６年にわたる豊富な開発実績と最先端技術への取組み～

ソーバルは、ソフトウエアの開発に長年にわたり取り組んでまいりました。特に、国内外でトップレベルのお客様のニーズに真摯に応えることで、経験豊かな開発技術者の育成と幅広くかつ専門的なソリューションを培ってまいりました。

現在は、国内でも有数の「組込み開発」の独立系企業として高い評価をいただくとともに、「電子回路設計」「アプリケーション開発」「スマートデバイスアプリケーション開発」「WEB・クラウド開発」「マニュアル制作」「品質評価」など多岐にわたるソリューションを提供しております。

さらに、これらＩＴソリューションの提供を主たる事業としつつ、自動運転分野・ＡＩを活用した開発など最先端技術への取組み、独自の製品開発（スマホアプリ開発、ＳＮＳ構築システム等）にも着手しております。

社会環境の急速な変化にともなって、求められる技術も多様に進化を遂げています。

ソーバルは、社員一人ひとりがこれら新旧の技術を日々追求し糧とすることによって、お客様の様々な声に応える柔軟性と機動力を発揮しております。

株式会社コアード

～企業向け業務システム開発をワンストップで受注～

CORERD
株式会社コアード

社名	株式会社コアード
本社所在地	東京都港区芝浦4-16-23
設立	1987年2月
資本金	2,000万円
事業内容	コンピュータソフトウエアの開発 コンピュータシステムのコンサルティング

富士通グループのコアパートナーとして、流通業を中心に出版・印刷業界から、住宅・不動産、金融、スポーツ分野など幅広い業界で必要とされるシステム開発を行っております。時代の変化に合わせて、最新の技術トレンドを捕捉し、様々な対象業界の業務知識に通じることで、お客様の業務運営の効率化や電子化対応を支援してまいります。

アンドールシステムサポート株式会社

～ニッチな強みを持つシステム開発の老舗企業～

ANDOR システムに挑戦する アンドールシステムサポート株式会社

社名	アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地	東京都品川区南品川2-15-8
設立	1969年11月
資本金	9,900万円
事業内容	ハードウエア設計･開発･製造 ソフトウエア等の受託開発

現代のおう盛なネット消費を支える上で欠かせない技術を提供しております。

また、英国Ａｒｍ社と開発ツールの販売代理店契約を締結するなど、開発業務にとどまらず、製品化や量産対応、要員教育、メンテナンス、ユーザ・サポートなど、お客様のビジネスを様々な側面からサポートしてまいります。

2019年2月期の概況

2019年2月期
（対2018年2月期比増減率）

売上高
8,190百万円（-0.4%⬇）

営業利益
621百万円（+6.0%⬆）

経常利益
631百万円（+7.4%⬆）

親会社株主に帰属する当期純利益
417百万円（-1.7%⬇）

2019年2月期（2018年3月1日～2019年2月28日）

重点対応
① 請負業務の拡大
② 人材の育成
③ 案件管理体制の強化

効果・目的
・高採算・高付加価値案件の獲得
・新技術への対応能力の向上とノウハウの蓄積
・プロジェクト管理体制の構築

請負業務の課題であるプロジェクトの管理や人材育成、営業活動に継続して取り組む中で、その体制構築も順調に進展し、利益水準と利益率の改善につながりました。特に、請負業務を主軸とする子会社２社が最高益を達成し、収益に大きく貢献いたしました。さらに、自動運転分野など新規技術分野における取引を拡大したことに加え、マニュアル制作分野、臨床試験（治験）における統計解析分野、品質評価分野での顧客開拓も進み、全社的な収益基盤の強化に向けた取り組みも推進してまいりました。一方で、ＩＴ業界の人材流動化や働き方改革の推進による残業抑制などの影響により、売上高は微減となりました。

2020年2月期の展望

2020年2月期予想
（対2019年2月期比増減率）

売上高
8,196百万円（+0.1%⬆）

営業利益
630百万円（+1.4%⬆）

経常利益
642百万円（+1.6%⬆）

親会社株主に帰属する当期純利益
460百万円（+10.1%⬆）

2020年2月期予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

重点対応
① 営業展開に注力
② 人材の育成と確保
③ 最適な人材配置による収益力向上

ポイント
・請負業務の拡大
・派遣業務の収益力強化
・アライアンスの推進

自動運転分野など積極的な研究開発投資が行われている新規技術分野における取引の拡大、マニュアル制作分野、臨床試験（治験）における統計解析分野、品質評価分野での顧客開拓を進めるなど、全社的な収益基盤の強化に向けた取り組みを推進してまいります。

２０２０年２月期の通期の業績予想は、売上高８，１９６百万円、営業利益６３０百万円、経常利益６４２百万円、親会社株主に帰属する当期純利益４６０百万円を見込んでおります。

2019年2月期トピックス

顧客別売上比

- **キヤノングループ：**売上高が減少し、比率が39.0%に
- **ソニーグループ：**請負案件の受託など売上高・比率ともに拡大
- **富士通グループ：**業務系システム開発案件に継続して参画するも、請負案件の検収タイミングにより売上高・比率ともに減少
- **リクルートグループ・NTTグループ：**ほぼ横ばいで推移
- **日立グループ：**売上高・比率ともに順調に拡大
- **その他：**売上高が増加し、売上比率が 27.4% と大きく拡大

顧客別売上比

売上順位（前期末）			前期末比
1 (1)	キヤノングループ	39.0%	−6.8%
2 (2)	ソニーグループ	16.6%	+2.7%
3 (3)	富士通グループ	8.4%	−1.2%
4 (4)	リクルートグループ	2.9%	−0.5%
5 (−)	日立グループ	2.9%	+1.2%
6 (5)	NTTグループ	2.8%	−0.4%
7	その他	27.4%	+5.0%

三菱グループ、野村総研グループ、伊藤忠テクノソリューションズ、椿本チエインググループ、トーヨーカネツグループ、NECグループ、東芝グループ、オムロングループ 、他

請負比率が53%超に

- 請負業務拡大に伴い、収益力がアップし、案件管理体制も強化された
- 請負比率の目標として早期に60%超を目指す

契約種別売上比

新規参入分野の状況

自動車分野

- 自動運転技術を中心に日立グループや自動車メーカー等との取引が拡大

AI 分野

- 様々な分野で AI 案件（ディープラーニング系）に携わり技術ノウハウの蓄積が進む

IoT 分野

- 幅広い業界に携わりながら知見を蓄積中

グループ会社2社が最高益を達成

コアード

- 富士通グループとの取引強化（富士通コアパートナー品質特別賞受賞）
- 個別のプロジェクト規模が大きく特定の技術に特化

アンドールシステムサポート

- 開発・販売ともに売上が拡大
- 大手メーカ数社から JTAG テストシステムの量産採用を受注

中長期成長戦略

人材採用、PL／PM育成

人材採用・育成

- 新入社員 連結53名・単体41名（2019年4月入社）
- 新卒採用を軸に、国内のみならず海外からも優秀な人材獲得を目指す
- 請負案件を通じた技術力の向上とノウハウ蓄積

PL／PM育成

PL（プロジェクトリーダー）：スケジュール・仕様・メンバー・品質などを管理するリーダー

PM（プロジェクトマネージャー）：プロジェクトの提案・見積・契約から納品までを管理・統括する複数のプロジェクトの総責任者

エンジニア育成

- ローテーションにより新しい技術に触れ様々なスキルを獲得、またコミュニケーション能力と環境適応能力の向上を図る

リーダー・マネージャーの育成

- 新規案件の仕様策定や交渉能力を備えた人材を育成
- 多数のプロジェクト経験を通してPL／PM層を育成し、プロジェクトの管理能力を強化

販路拡大・収益多角化戦略

- 景気変動の影響を受けない体制の構築
- 中長期的な視点で AI・IoT 関連ビジネスを確立
- 派遣業務における収益力向上と付加価値の追求

自動車分野

- 自動運転技術の開発とモビリティサービスに関連する取引が拡大
- 派遣業務が主体だが、今後は請負業務への転換を進める

医療分野

- 治験における統計解析での顧客開拓が進む

航空・宇宙分野

- 人工衛星に関わる開発等に参画

金融サービス分野【未進出】

- ソーバルとコアードが連携し取り組む

ロボット分野【未進出】

- ハードウエア及びファームウエアの技術に加え、AI・IoTのノウハウ活用も模索しグループ全体で取り組む

業績ハイライト（連結）

売上高

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益

純資産／総資産

1株当たり当期純利益※

1株当たり純資産※

※ 当社は、２０１７年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割については、２０１６年2月期期首に株式分割が行われたものと仮定して、１株当たり当期純利益、１株当たり純資産を算定しております。

財務諸表（連結）

貸借対照表

（単位：千円）

科　目	2018年 2月期	2019年 2月期	科　目	2018年 2月期	2019年 2月期
（資産の部）			（負債の部）		
流動資産	3,263,422	3,437,353	流動負債	805,609	743,374
固定資産	756,900	724,601	固定負債	197,760	192,095
			負債合計	1,003,369	935,470
			（純資産の部）		
			株主資本	3,016,954	3,226,485
			純資産合計	3,016,954	3,226,485
資産合計	4,020,323	4,161,955	負債純資産合計	4,020,323	4,161,955

損益計算書

（単位：千円）

科　目	2018年 2月期	2019年 2月期
売上高	8,223,672	8,190,800
売上原価	6,662,527	6,624,649
売上総利益	1,561,144	1,566,150
販売費及び一般管理費	975,137	945,146
営業利益	586,007	621,003
営業外収益	2,266	13,622
営業外費用	95	2,645
経常利益	588,178	631,981
特別利益	2,719	–
税金等調整前当期純利益	590,898	631,981
法人税等合計	165,759	214,134
当期純利益	425,138	417,846
親会社株主に帰属する当期純利益	425,138	417,846

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　目	2018年 2月期	2019年 2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	540,058	343,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,546	△6,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,025	△207,578
現金及び現金同等物の増減額	343,486	129,610
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,286	1,733,773
現金及び現金同等物の期末残高	1,733,773	1,863,383

株主優待／配当金／CSR活動

株主優待について

毎年8月31日時点で1単元（100株）以上の株式を保有する株主様に対し、株主優待制度としてQUOカードを贈呈いたします。

対　　象	8月31日（基準日）に 1単元（100株）以上ご所有の株主様	
実施回数	年1回	
配送方法	中間決算関係書類（11月発送予定）に同梱	
優待内容	1単元（100株）以上、 10単元（1,000株）未満	500円相当の QUOカード
	10単元（1,000株）以上	2,000円相当の QUOカード

CSR活動

「スポーツフェスタOZ（オズ）」にボランティア協力

ソーバルの有志を中心に、品川区主催イベント「みんなであそぼっ！！スポーツフェスタOZ（オズ）」にボランティア協力いたしました。「スポーツフェスタOZ（オズ）」は様々なオリンピック競技パラリンピック競技を体験できるイベントです。

インドネシア・スラウェシ島地震被災者に対する支援

２０１８年９月２８日に発生したインドネシア・スラウェシ島を震源とするマグニチュード７．４の地震により被災された方々を支援するため、日本赤十字社を通じて「２０１８年インドネシア・スラウェシ島地震救援金」をお送りしました。

配当について

２０１９年２月期 期末配当を前回予想１３円に対して1円増配の１株当たり１４円に修正させていただきます。

２０２０年２月期につきましては３０円（中間配当１５円、期末配当１５円）を予定しております。

配当金推移

（単位:円）	1株当たり配当金			配当性向
	中間配当	期末配当	年間	
2020年 2月期予想	15.0 円	15.0 円	30.0円	53.3%
2019年 2月期	13.0 円	14.0 円	27.0円	52.8%
2018年 2月期	12.0 円 ［24.0円］	12.5 円	24.5円	47.1%

（注）当社は、2017年9月1日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。上記では２０１８年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した配当金の額を記載しております。参考までに、分割前の実際の配当額を［ ］内に記載しております。

株式基本情報／株主情報

株式基本情報

（2019年2月28日現在）

証券コード	2186
上場市場	株式会社東京証券取引所 ジャスダック市場
事業年度	毎年3月1日から 翌年2月末日まで
配当支払株主確定日	中間：8月31日 期末：2月末日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
単元株式数	100株
発行可能株式総数	29,600,000株
発行済株式総数	8,167,498株
株主数	4,923名
公告方法	電子公告 （事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します）

株主数推移

（2019年2月28日現在）

株式分布状況

（2019年2月28日現在）

◇ 所有者別情報

金融機関	0.11%
金融商品取引業者	1.45%
その他の法人	42.93%
外国法人等	0.39%
個人・その他	55.12%
自己名義株式	0.00%

◇ 所有株式数別情報

1単元未満	3.77%
1単元～5単元未満	76.25%
5単元～10単元未満	5.69%
10単元～50単元未満	12.29%
50単元～100単元未満	1.46%
100単元～	0.54%

大株主

（2019年2月28日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率
エバーコア株式会社	3,480,000	42.60 %
ソーバル従業員持株会	956,600	11.71 %
川下 奈々	377,440	4.62 %
推津 敦	377,440	4.62 %
丸田 卓	80,000	0.97 %
新海 秀治	55,200	0.67 %
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	50,600	0.61 %
蔵方 肇	50,000	0.61 %
町田 泰則	43,000	0.52 %
推津 順一	40,080	0.49 %

会社情報／株式手続き

会社概要

（2019年2月28日現在）

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川5－9－11大崎MTビル
資本金	214 百万円
事業内容	・組込み開発 （ソフトウエア・ハードウエアの設計開発） ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・品質評価 ・マニュアル制作 ・IoTソリューション
従業員数	連結：981名　単体：867名
ホームページアドレス	https://www.sobal.co.jp/

株式手続き

住所・氏名・振込口座などの変更について

ご住所の変更や配当金の受取り方法等、株式に関する手続きのお問合せ先は下記をご参照ください。

一般口座をご利用の株主様	お取引先の証券会社までお問合せください
特別口座をご利用の株主様	**三菱UFJ信託銀行株式会社（証券代行部）** テレホンセンター：0120-232-711 受付時間：9:00～17:00（土日祝休み） URL：https://www.tr.mufg.jp/daikou/ **【郵送物送付先】** 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

役員紹介

取　締　役	2019年5月23日付
代表取締役会長	推津　順一
代表取締役社長 兼 CEO	推津　敦
取締役副会長	稲葉　勝巳
専務取締役	東谷　正雄
専務取締役	舊橋　学
専務取締役	河原　浩一
取締役	山林　敬

監　査　役	2019年5月23日付
常勤監査役	伊藤　光男
監査役（公認会計士）	森　正人
監査役（弁護士）	小野寺　眞美

執　行　役　員	2019年4月10日付
専務執行役員	大久保　仁美
専務執行役員	島谷　裕一
執行役員	西岡　建太
執行役員	杉山　義雄
執行役員	古屋　繁之
執行役員	岩崎　恭治
執行役員	井上　一幸

IRに関するお問合せ先

Sobal corporation

ソーバル株式会社　IR担当窓口

〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル

TEL：03-6409-6138（受付時間　平日　9:00～17:00）

IRサイトアドレス　|　https://www.sobal.co.jp/ir/

このパンフレット内の文章、写真等の著作物の全部または一部を弊社の許可なく複製、使用することを一切禁じます。パンフレットの内容は2019年5月現在のものです。230519PR210-IRJ11